

名古屋大学博物館野外観察園展示室の展示記録 2014年11月から2015年10月まで

Record of the exhibition at the Nagoya University Museum Botanical Garden
from November, 2014 to October, 2015

吉野 奈津子 (YOSHINO Natsuko)

名古屋大学全学技術センター
Nagoya University Technical Center, Chikusa-ku, Nagoya 464-8601, Japan

名古屋大学博物館野外観察園展示室で2014年11月から2015年10月までに名古屋大学博物館のサテライト展示を4つ行った。本報告はその記録である。展示の企画、展示者との調整は野崎ますみ（名古屋大学博物館）が行い、会期中の管理は吉野が行った。展示物に関しては展示者が作成を行っている。

(1) スノーボールアースからカンブリア爆発へ

主催：名古屋大学博物館

会期：2014年11月5日（水）～2015年1月30日（金）

入園者数：609人

担当：大路 樹生（名古屋大学博物館）、長谷川 精（名古屋大学博物館）



図1. チラシ.



図2. 展示室の様子.

はじめに

「スノーボールアース」、「カンブリア」、何だかむずかしい言葉が並んでいますね。「スノーボール」とは雪合戦で使う雪玉のことかな? 「カンブリア」は太古の化石の話で耳にしたことがある? などと、思っただけならば、上出来です。ちょっと専門的なタイトルを付けすぎたのかも知れません。

地球の太古の歴史をひもといていくと、短期間に大きな変化が起きた時と、長い間に大した変化の起きていない時の繰り返しであることが分かります。その中で、特に今から7億年前から5億年前の頃(原生代後期～古生代カンブリア紀)には史上最大の事件・変化が地球表層の環境と、海の中の生物進化に起きたのです。それを紹介し、地球環境と生物進化が密接に結びついていることを理解してもらい、それが今回の「スノーボールアースからカンブリア爆発へ」展のねらいです。

展 示 品：化石 (14点)、岩石標本 (1点)、アノモノカリス模型 (1点)

(2) 博物館友の会写真サークル 写真展

主 催：名古屋大学博物館

会 期：2015年2月9日(月)～3月25日(水)

入園者数：453人

担 当：野崎 ますみ(名古屋大学博物館)、吉野 奈津子(名古屋大学博物館)

ごあいさつ

名古屋大学博物館友の会写真サークルは2013年10月に発足し、現在13名の会員で運営しております。会員は写真歴数十年のベテランから、サークルに入って初めて一眼レフカメラを手にした初級者までにわたり、撮影対象も風景・人物・植物・動物など様々です。

三矢保永先生(名古屋大学名誉教授・名古屋産業科学研究所上席研究員)を講師にお迎えし、年に6回のペースで例会を開きながら腕を磨いています。その成果を披露させていただくため、博物館の協力を得て、このたびサークルとして記念すべき初の写真展を開催する運びとなりました。題材は設けず自



図3. チラシ.



図4. 展示室の様子.

由に取り組みました。個性あふれる作品をどうぞお楽しみください。

博物館で開催される催し物の写真撮影の多くは、写真サークルがボランティアで行っています。写真を通じて広く博物館を知っていただき、博物館活動がより発展することになれば幸いです。

展示作品：写真（31点）

冬の使者湖畔に帰るⅠ・Ⅱ, 観音本堂とそめいよしの, 水音が聞こえるようです, のこり雪, 孤高の王者, グラデーション, 羅漢さんたち, 奥美濃のシャングリラⅡ, 里の春, ウルトラマン参上（コチョウラン）,	悠久の桜, あじさい, カモメと波紋, 寺塔盛秋, 彩り, 年初めの散歩, 若者と海, 高原の朝, 秋彩, ふわり舞う（シイタケの胞子）	冬の使者母鳥のまなざし, 旅の思い出, じゃんけんゲー！, 静寂の庭, 自然界の青色LED, 場違いの悪ふざけ, 清水寺（せいすいじ・佐渡）Ⅰ・Ⅱ, 滝雲の飛驒泣き越え, ボタニカルフォト習作（オナモミ）,
--	---	---

（3）鳴き声と写真で知る名大の野鳥

主催：名古屋大学博物館

会期：2015年4月1日（水）～6月25日（木）

入園者数：647人

担当：吉野 奈津子，野崎 ますみ

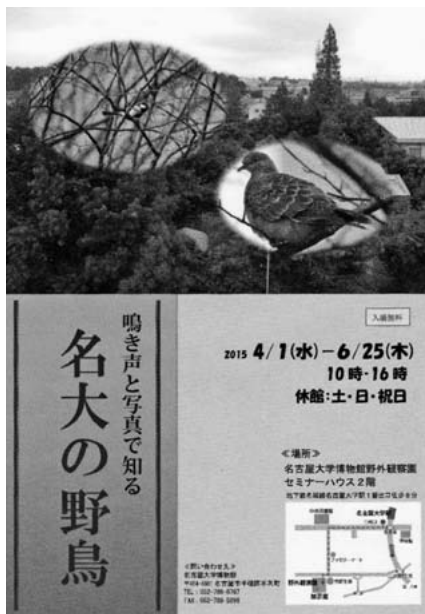


図5. チラシ.



図6. 展示室の様子.

展示作品：写真（44点）

アオサギ,	コアジサシ,	ツバメ,
キンクロハジロ,	カイツブリ,	カワウ,
キセキレイ,	セグロセキレイ,	カワセミ,
カシラダカ,	ベニマシコ,	ヤマガラ,
ヒガラ,	エナガ,	シジュウカラ,
ルリビタキ,	キビタキ♂♀,	メボソムシクイ,
ウソ♂♀,	センダイムシクイ,	シロハラ,
アカゲラ,	コゲラ,	カケス,
メジロ,	アオジ,	ウグイス,
シメ,	イカル,	カワラヒワ,
オオルリ,	ヒヨドリ,	ツグミ,
ジョウビタキ♂♀,	モズ,	ハクセキレイ,
スズメ,	キジバト,	ムクドリ,
ハシボソガラス,	ハシブトガラス	

（4）ムシの世界

主催：名古屋大学博物館

会期：2015年7月6日（月）～10月30日（金）

切り紙実演：2015年8月5日（水）、8月27日（木）、10月10日（土）、10月17日（土）

入園者数：2,953人

切り紙実演見学者：381人（入園者数に含む）

担当：野崎 ますみ

ご挨拶

今回は、当館所蔵の奈良坂源一郎の博物画（複製）と昆虫標本（東海昆虫保存会寄贈）の同時展示を試みました。また、今回初めて展示をした切り紙は石川進一朗（中2）の新作約100点です。これらの大部分は今回の展示に合わせての制作です。

石川くんとの出会いは、博物館のイベント「ミクロの探検隊®」でした。石川君の切り紙を見た時の驚きは、言葉にできません。まさに天才少年です。こんな素晴らしい切り紙を「もっと世の中の多くの人に伝えたい、見ていただきたい」という博物館魂がムクムクと頭をもたげ、今回の企画になりました。

同じムシと言えども絵画、標本（実物）、切り紙では三者三様の味わいがあります。また、「芸術も科学も自然をよく観察することが基本」と言うことを改めて実感できます。

どうぞ、芸術と科学が融合した「ムシの世界」をごゆっくりお楽しみください。

石川進一朗

2001年12月25日生まれ。名古屋市若葉中学校2年生。4歳のころから切り紙を始めた昆虫大好き少年。現在、カブトムシ、コクワガタ、ノコギリクワガタ、タマムシ、マダガスカルオオゴキブリ、オオムラサキ、ギフチョウ、アオドウガネなど約20種を飼育する。

今回の展示に合わせて、約100種の切り紙を制作した。

切り紙の制作は、下絵なしに、二つに折った紙をハサミで切り、指で折り込むだけ、ほとんどの作品が1枚の紙からできている。

展示作品：東海昆虫保存会標本ドイツ箱（15箱）、奈良坂源一郎蟲魚圖譜分冊二からの複製画（35点）、石川進一朗氏切り紙（113点）

アオスジアゲハ（幼虫）、	アカトンボ、	アゲハ（3点）、
アメンボ、	アリ（2点）、	ウスバカゲロウ、
オオカマキリ（3点）、	オオクワガタ（オス2点）、	オオクワガタ（メス）、
オオゲジ ¹⁾ 、	オオスズメバチ、	オオムラサキ幼虫、
オサムシ、	オトシブミ、	オニヤンマ、
カ、	カニムシ、	カブトムシ（オス）、
カブトムシ（メス）、	カミキリムシ（2点）、	カメムシ（2点）、
カラスアゲハ、	カントン（オス）、	カントン（メス）、
ギフチョウ、	キリギリス（オス）、	キリギリス（メス）、
クビキリギス、	クモ ¹⁾ 、	クロアゲハ、
クロオオアリ、	クロカナブン、	クロゴキブリ（2点）、
ゲジ（2点） ¹⁾ 、	ゲンゴロウ、	コオイムシ、
コオロギ、	ゴミムシダマシ、	ゴミムシダマシ（外国産）、
サシガメ、	サソリモドキ ¹⁾ 、	シジミチョウ（外国産）、
シデムシ、	ショウジョウトンボ、	ショウリョウバッタ、
シリアゲコノハナナフシ、	スズムシ（オス）、	スズムシ（メス）、
セミ（3点）、	セミの幼虫（2点）、	ゾウムシ（2点）、
ダイオウヤンマ ^{1), 2)} 、	タイコウチ、	タガメ、
タマムシ（2点）、	タランチュラ ¹⁾ 、	ダンゴムシ ¹⁾ 、
チョウトンボ、	ツノトンボ、	ツノコガネ、
トノサマバッタ、	トビムシ、	トンボ、
ナナフシ、	ナナホシテントウ（3点）、	ナベブタムシ、
ナミアゲハ、	ナミアゲハ幼虫、	ナミテントウ（2点）、
ニセハナマオウカマキリ、	ハエ、	ハッチョウトンボ（オス2点）、
ハッチョウトンボ（メス2点）、	ハナカマキリ、	ハムシ、
ハンミョウ、	ヒシムネカレハカマキリ、	ヒメタイコウチ、
ヒラタクワガタ（オス）、	ヒラタクワガタ（メス）	ヒラタシデムシ、
ホタル、	マツモムシ、	マルガタゴミムシ、
ミズカマキリ、	ミズスマシ、	ミヤマクワガタ（オス）、
ミヤマクワガタ（メス）、	モンキチョウ、	ヤゴ、
ヤママユガ、	ヤンバルテナガコガネ、	王蟲（オウム） ^{1), 2)}

1) 昆虫に区分されない節足動物

2) アニメ『風の谷のナウシカ』より



図7. チラシ.



図8. ペーパークラフト冊子.



図9. 展示室の様子.



図10. 切り紙実演の様子.